

南浜中だより

# 海鳴

## 【教育目標】

深く考え 心豊かに  
実践する生徒  
生徒数 113名 (4/1 現在)  
平成29年12月7日 (木)  
新潟市立南浜中学校  
HP  
<http://minamihama-j.blog-niigata.net/>

## 水俣病から宝物を伝えるプログラム ～ 熊本・水俣市「ほっとはうす」からゲストをお迎えして ～



### かけがえのない命の重さ・尊厳を考える

校長 和泉 哲章

先月下旬から命の尊厳や大切さを考える機会がありました。

11月27日の全校朝会では、「生老病死」、命の「偶然性」「連続性」「有限性」という視点から命の大切さを考えました。

「生老病死」とは、生まれること、老いること、病むこと、死ぬことです。これら四つをまとめて「四苦」と言います。「苦」とは苦しみという意味ではなく、人間の力ではどうにもならないことと捉えましょう。生まれること、老いること、病になること、死ぬことは人間の力ではどうにもならないという事です。自分の意思で生まれてきた人はいません。病になりたくない人もいません。そして、「竹取物語」にも出てくるように大昔から人々は不老不死を願ってきたのです。自分の意思で生まれたのではないから、命を自分勝手にしたり、粗末に扱ったりしてはならないのです。

命の重さ、かけがえのない命と未来を傷つけられた人たちがいます。

11月28日には、熊本・水俣市から胎児性水俣病の永本さん、松永さんと「ほっとはうす」施設長の加藤さんをお招きし、「水俣病から宝物を伝えるプログラム」を行いました。世の中で最も安心安全であるべきお母さんのお腹の中である有機水銀に冒され、生まれながらにして水俣病となったお二人と胎児性水俣病の患者さんたちを支え続けてきた方です。これまでの苦しみや悲しみ、そして自分の命を価値あるものにするための「挑戦」についてお話をいただきました。

また、11月30日には、交通事故によって最愛の家族を亡くし傷つけられた犯罪被害の遺族の方が、その癒えることのない悲しみや願いを生徒に語ってくださいました。

命が傷つけられたとき、失われたとき、本人だけでなく、家族や周りの人たちの悲しみや苦しみを知り、改めて命の重さや命の尊厳について考える貴重な機会になりました。

## 水俣病から宝物を伝えるプログラム

11月28日(火)熊本・水俣市から、胎児性水俣病等の通所施設「ほっとはうす」の施設長の加藤タケ子さんと胎児性水俣病の永本賢二さんと松永幸一郎さんをお迎えして「水俣病から宝物を伝えるプログラム」を開催しました。「ほっとはうす」は、胎児性水俣病や障がいをもった方の居場所であり、働き、出会い、交流する場でもあります。施設長の加藤タケ子さんは、居場所のなかった胎児性水俣病の人たちのために何かできないかと東京から水俣に移り住み、様々な挑戦をし、困難を乗り越えてこの施設を育ててきました。

当校では、人権学習として新潟水俣病について学習をしています。毎年、新潟医療福祉大学の皆さんと一緒に、生徒と職員が水俣市を訪問し、水俣病について学んでいます。今回おいでいただいた皆様には、その際にいつもお世話になっていて、全国的にもよく知られた皆さんです。

このたび、11月26日に行われた新潟県主催の講演会に招かれたのを機に、「ぜひ南浜中」ということでプログラムが実現しました。

### 永本賢二さんのお話

私の家では、昭和23年と24年に続けて兄が生まれました。2人ともすぐに亡くなり、昭和27年と30年に姉が生まれました。そして、私は待望の男の子でした。祖母は、バンザイ、バンザイと大喜びしてくれたそうです。でも、私の成長は2人の姉とは少し違っていました。痺れや痛みで泣いてばかりで、1歳になっても歩くことができず、ずいぶん家族は心配しました。風呂上がりには姉達がマッサージしてくれたのを覚えています。私は、3歳になっても歩くことができず、家の中でも3輪車は車イスの代わりにしていました。



昭和37年、世界で初めて胎児性水俣病が確認され、私も、間もなく認定されました。これは、父が懸命になってチッソに訴えてくれたお陰と母に聞かされ、『お父さんありがとう』、感謝の言葉が出ました。父は大好きな会社を訴えることが、とても辛かったと思います。小学校5年で父は、亡くなりました。当時の父の思い出は、3交代の合間に船を持ち漁も大好きで、チッソも大好きで、働くことを誇りにしていました。私もチッソが大好きで父を誇りに思っていました。クレーンや煙突の煙を見ると、チッソもがんばってるなと励まされていました。

小学校でも、中学校でも 水俣病患者で障がいがあることで、いじめられました。(大人から)水俣病の患者さんたちは補償金もらってよかぬっていわれたとき、そういう言葉がいやだった。小学校1年とき、鉛筆一本買うときにもいわれた。「いいね、けんちゃん、補償金でなんでも買えて。」本当に苦しかったです。世の中は冷たい人ばかりと思ってました。

小学校4年生のとき、「これはお父さんのお金で買ったんだよ、補償金じゃないよ」ってやっといえました。その辛さをチッソの風景が救ってくれました。僕の人生のなかで、チッソのクレーンは僕を助けてくれたし、チッソの煙突の煙をみると元気がでたし。今はクレーンもないし、残っているのはでっかい倉庫だけ。これを絶対なくしてほしくない。心の中だけの梅戸港にしたいです。

僕とすれば、がんばってきたんですけれども、水俣病は終わってないません。水俣病は終わっていないことを忘れないでください。そして、みんなのお父さんたちの給料に感謝して、一生懸命生きてください。それが僕の願いです。

### 3年 さん

水俣病の患者さんは、長い間、差別や偏見を受けて苦しんできたのに、どんなことがあっても前向きに生きている姿にとっても感動しました。講演後も笑顔で全校生徒と握手していて、様々な困難を乗り越えて未来に希望をもって一日一日過ごしていることも伝わってきました。患者さんたちと交流したことで水俣病について詳しく知ることができ、理解が深まりました。差別や偏見をなくし、患者さんが安心して生活できるようにすることが大事だと思いました。世代を超えて水俣病の教訓を伝えていくこと、そして前向きに生きていくことが大切だと思いました。

### 3年 さん

永本さんのお父さんが働いていたチッソの工場から有機水銀を含んだ排水が流され、それで自分の息子が水俣病にかかってしまった。それを会社に必死に訴えていたという話がとても心に残りました。様々な困難があったのに永本さんの「下を見ないで、前を向いて歩いている。」という言葉が感動的だった。水俣病になっても、笑顔が消えない生き方にすごいと思った。

水俣病だけでなく、ほかの病気や障がいをもつ人に差別や偏見をもつことなく、積極的にかかわりを持ち、自分も笑顔で過ごしたいと思いました。

## 松永幸一郎さんのお話

水俣の丸島というところ、チッソのすぐそばの漁港で、昭和38年に生まれ、津奈木まちという水俣から5キロはなれているところで育ちました。最初歩くことはできませんでした。それで、地元の学校に行けなくて、5歳から遠くはなれた、松橋町にある療護園に入り、そこで高校まで親元離れて勉強しました。最初はさびしくて、よく泣いていたそうです。

大人になって感じたことは、障がいがあっても、自分の家から学校に通いたかったなと思います。それで、高校まで自分は、障がい名が脳性マヒでした。(自分の病名に)水俣病と名前がついていなくて、二十歳になって、自分の障がいの原因が水俣病だと認定を受けました。認定をうけても、水俣病はどのような病気かなど、全くといっていいほど何も知りませんでした。四大公害病はわかっていましたが、まさか自分がその一人とは思わず、最初はピンとこなくて、不思議に思っていたけど、13年前にほっとはうすに入って、やっと、このこうやってプログラムをやりながら、自分なりに(水俣病について)覚えてきました。

公害の原因は、チッソが流した有機水銀で、昭和34年の猫実験で原因はわかっていたのに排水は止めなかった。止まったのは9年後でした。そのなかで自分も昭和38年に生まれて、もし排水が止まっていたら、被害は少なからずとも、なかったかもしれない。自分の人生は、違っていたかもしれない。そのことを思うと悔しいし、なんで止めなかったんだろうという思いがあります。

いま、車椅子に乗ってますけど、5年前は歩いていて、大好きだったマウンテンバイクにのって、津奈木から水俣まで通っていました。私も、ほっとはうすに入ったころは、一番元気がよかったけど、まさか自分がこうなるとは思わなかったです。ほかの患者も、数名、歩けなくなった人がいて、自分もひょっとしたらと不安をもてましたが、まさか自分が歩けなくなるとは思っていませんでしたので、やっぱり一番ショックが大きかったです。最初は車いすも使いたくなかったのですが、足の痛みにたえられず、自転車もこれ、移動はセニアカーをつかってます。

いろんな苦しいことがあったんだけど、そのなかで一つ、自分にとって唯一の生きがいがありまして、それは高校からはじめた将棋です。アマチュアの三段で、熊本で毎年春に行われる肥後名人戦にでています。将棋をやっているときが一番、輝いているときっていうか、障がいや、足の痛みも忘れる時間で、本当によかったなと思います。

まだまだ水俣病は終わっていません。さらに水俣病患者さんだけでなく、原発問題、東日本大地震の被害者など、その人たちの苦しみやくやしかったことも忘れてはならないと思います。



### 1年 さん

永本さんの話を聞いて心に残ったことは、3歳まで歩けなくて三輪車が歩行器代わりだったということと永本さんのお父さんが自分も水銀に冒されていたのに、自分よりも息子である永本さんを優先して(認定のために)懸命に交渉してくれたということです。

もし自分が、知らないうちに水銀に冒されたかと思うととても怖いんです。水俣病だけでなく、怖い思い、つらい思いをしている人をどう支えたらいいか考えたいと思いました。

### 2年 さん

前向きに生きていることに心打たれました。永本さんが子どもの頃いじめられていたけど、「クレーンに力をもらった」というポジティブさにすごいと思いました。加藤さんの話にこんな話がありました。ほっとはうすの女性の患者さんは絵を描くとき脚から描きます。なぜなら自分の足は動かないからです。でも、もし、もう一度自分の足が動いたなら、仲間の車椅子を押してあげたいという話です。自分の足が動いたら仲間のことを優先したいと思うなんてすばらしいことだと思いました。

### 1年 さん

お話を聞いて心に残ったことが3つあります。1つ目は、松永さんが「僕は普通の人と同じで女子大生が来ると喜びますよ。」という言葉に水俣病患者のイメージが変わりました。2つ目は、永本さんが三輪車は遊び道具ではなくて歩行器として使っていたということです。3つ目は、車椅子の松永さんが5年前までマウンテンバイクに乗っていたことにびっくりしました。水俣病=暗いイメージでした。「かわいそう」ではなく「歴史を語る人すごい人」というイメージに変えたいと思いました。

### 2年 さん

胎児性水俣病の方々が「ほっとはうす」で自分の力で働けていることに私も嬉しく感じました。差別や偏見、自由に動かない体のせいで働くことが難しい患者さんにとって、ほっとはうすで働けることは嬉しいだろうと思いました。患者さんたちが、水俣病からの宝物の一つは「出会い」だといっていたことはとても心に残っている。水俣病なのかわからないくらい明るい笑顔で水俣病から得られたものもあるという前向きにいられる患者さんのような素敵な人間になりたいと思いました。

# 生徒会三役決まる！ ～生徒会役員選挙～

12月5日（火）生徒会役員選挙の立会演説会ならびに投票が行われました。どの候補者、責任者も張りのある声で、公約や候補者の人となりを、堂々と述べていました。投票の際も私語一つなく、粛々に行われました。投票の結果、次の人たちが生徒会役員に決定しました。

勇気をふるって立候補してくれた皆さん、本当にお疲れ様でした。よく頑張りました。新役員に当選した皆さん、どうぞよろしくをお願いします。

役職名	学 年	氏 名
会 長	2	田中 さん
副会長	2	今井 さん
副会長	2	南 さん
書 記	2	高木 さん
応援団長	2	佐藤 さん



## ロコモ予防体操を行います

12月18日（月）、19日（火）の昼休みにロコモ予防体操を行います。「ロコモ」とはロコモティブ・シンドローム（locomotive syndrome）の略で、骨・関節・筋肉など体を支えたり動かしたりする運動器の機能が低下し、要介護や寝たきりになる危険が高い状態を言います。そういう状態にならないように始まったのがロコモ予防体操です。近年、地域の方のご指導で地域の方と一緒にしています。この体操は、体幹を鍛える運動が入っており、高齢者だけでなく中学生にとってもとてもいい運動です。寒くなり、運動不足気味の方はぜひしっかり取り組んでください。



## 冬季学習会に参加しよう！～これまでの学びを確かなものに～

冬休みが始まる12月25日（月）から27日（水）までの3日間、冬季学習会を行います。これまでの学習を確かなものにするために、復習を中心にした補充学習です。定期テストや普段の授業の中で、各教科の基礎・基本の習得が十分でない人が見られます。普段の学習で十分できなかったところをしっかりと復習し、基礎・基本を身に付けましょう。冬季学習会に参加して復習することはもちろん大切ですが、家庭学習でできるまで粘り強く取り組むことも大切です。冬休み明けは、1年間のまとめの時期であり、3年生にとっては進路選択、1、2年生は実力テストや英語と理科のCRT（2年生のみ）が予定されています。3月にも1、2年生は、NRT（全国標準学力検査）があります。しっかりと復習しましょう。



29日	26日	25日	24日	23日	22日	20日	18日	17日	15日	11日	9日	5日	3日	1日									
(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(土)	(木)	(水)	(水)	(月)	(木)	(火)	(金)	(水)	(月)									
生徒朝会	入学説明会 子育て出前講座	道徳授業研究会	三年進路保護者会	三年進路保護者会 作り	二年家庭科のつぺ	二年CRT英・理	全校朝会	英語検定	職員会議	三年英語	アフタースクール	一年数学	アフタースクール	P T A 広報部会	専門委員会	生徒朝会	≒配信テスト	全校朝会	授業再開	スト	2・3年生実力テ	冬季休業終了	生徒登校禁止



【1月の予定】

